GreenSheet

平成２７年３月期　　決算短信（非連結）

平成 27 年５月 29 日

会　社　名　　株式会社名学館　　グリーンシート銘柄
コード番号　　2455　　本社所在都道府県　　愛知県
本社所在地　　名古屋市昭和区隼人町７番地 12
問い合わせ先　　責任者役職名　代表取締役社長
氏　　名　佐藤　剛司　　ＴＥＬ（052）834－4119
取締役会決議日　　平成 27 年５月 29 日

１．平成 27 年３月期の業績（平成 26 年４月１日～平成 27 年３月 31 日）

（注）1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 本決算短信の数値は、未監査です。

(1) 経営成績

	売上高	営業利益	経常利益
	千円　%	千円　%	千円　%
27 年３月期	633,263（　0.9）	△13,093（　－　）	△12,853（　－　）
26 年３月期	627,548（　33.0）	22,305（1,594.4）	23,895（　587.1）

	当期純利益	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高経常利益率
	千円　%	円　銭	円　銭	%	%	%
27 年３月期	△26,761（　－　）	△10,704 51	－	△11.8	△3.1	△2.0
26 年３月期	9,722（　－　）	3,888 88	－	4.1	6.0	3.8

（注）1. 期中平均株式数　27 年３月期　2,500 株　　26 年３月期　2,500 株
2. 会計処理の方法の変更　　無
3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率であります。
4. 潜在株式調整後１株当たり当期純利益は、26 年３月期及び 27 年３月期は新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場、非登録であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2)財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	千円	千円	%	円　銭
27 年３月期	456,042	212,947	46.7	85,179　13
26 年３月期	379,369	239,450	63.1	95,780　29

（注）期末発行済株式数　27 年３月期　2,500 株　　26 年３月期　2,500 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	千円	千円	千円	千円
27年３月期	80,815	△36,690	△2,048	263,571
26年３月期	△27,063	△20,896	△2,193	221,494

２．平成２８年３月期の業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	千円	千円	千円
通期	650,000	35,000	21,000

（参考）１株当たり予想当期純利益（通期）　8,400円 00銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

３．配当状況（現金配当金）

	１株当たり配当金						配当金総額（千円）	配当性向（%）	純資産配当率（%）
	第１四半期	中間期末	第３四半期	期末	その他	年間			
26年3月期	―	0	―	0	―	0	―	―	―
27年3月期	―	0	―	0	―	0	―	―	―
28年3月期（予想）	―	0	―	0	―	0			

４．コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

（１）コーポレート・ガバナンスに対する考え方

当社は公正かつ効率的な経営に取り組むべく、コーポレート・ガバナンスが重要な課題であると認識しております。そのため、経営の健全性、透明性を意識し、利害関係者の意思や利益を適切に反映していくようコーポレート・ガバナンスの充実に努めております。

（２）コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況

平成27年３月末現在取締役は６名であり、会社法で定められた取締役会の他、必要に応じて機動的に臨時取締役会を開催し、法令で定められた事項や経営に関する重要事項を決定するとともに、業務執行の状況を逐次監視しております。これにより、運営にあたってのチェック機能、牽制機能を果たすように努めております。また、監査役は１名（非常勤１名）で構成されており、業務内容及び、経理状況を継続的に監視し、取締役会への報告、助言を行うとともに、コンプライアンスを含めた事業運営の健全性を維持するように努めております。

また、継続的開示体制は、監査法人等外部専門家の指導を受けながら、経営情報の積極的かつ迅速な開示に努め、経営の透明性の向上を図っております。

５．反社会的勢力との関係排除への仕組みとその運用状況

（１）反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社は、反社会的勢力との関係については、取引関係を含め一切遮断することを基本方針としております。

（２）反社会的勢力排除に向けた整備状況

当社は、反社会的勢力に対しては、取締役を中心とした組織的な対応を行い、必要に応じて、警察や暴力追放推進センター、顧問弁護士等の外部専門機関と連携し、反社会的勢力の排除に取り組んでおります。

以上

平成 27 年５月 29 日

第 25 期　決算速報

（平成 26 年４月１日～平成 27 年３月 31 日）

会社名(定款上の商号)	株式会社名学館
英文名（英文商号）	Meigakukan Co.,Ltd.
コード番号	2455
代表者の役職氏名	代表取締役社長　佐藤　剛司
本店の所在の場所	名古屋市昭和区隼人町７番地 12
電話番号	052（834）4119
連絡者	代表取締役社長　佐藤　剛司

Ⅰ　当期の業績

(1) 損益計算書

（単位：千円）

科目＼期別	第 24 期 自平成 25 年４月１日 至平成 26 年３月 31 日		第 25 期 自平成 26 年４月１日 至平成 27 年３月 31 日	
	金額	百分比	金額	百分比
Ⅰ売上高	627,548	100.0	633,263	100.0
Ⅱ売上原価	321,637	51.3	357,917	56.5
売上総利益	305,910	48.7	275,345	43.5
Ⅲ販売費及び一般管理費	283,605	45.2	288,439	45.5
営業利益又は損失（△）	22,305	3.5	△13,093	△2.1
Ⅳ営業外収益	1,591	0.3	782	0.1
Ⅴ営業外費用	1	0.0	542	0.0
経常利益又は損失（△）	23,895	3.8	△12,853	△2.0
Ⅵ特別利益	－	－	1,135	0.1
Ⅶ特別損失	－	－	5,821	0.9
税引前当期純利益又は損失（△）	23,895	3.8	△17,538	△2.8
法人税、住民税及び事業税	2,874	0.5	4,580	0.7
法人税等調整額	11,298	1.8	4,641	0.7
当期純利益又は損失（△）	9,722	1.5	△26,761	△4.2

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目＼期別	第24期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	第25期 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
期中平均株式数	2,500株	2,500株
1株当たり当期純利益又は純損失（△）	3,888円88銭	△10,704円51銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	―	―

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、第24期及び第25期は新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場、非登録であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2)事業部門別売上高

（単位：千円）

事業部門＼期別	第24期 自平成25年4月1日 至平成26年3月31日		第25期 自平成26年4月1日 至平成27年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比
直営校舎運営事業	166,493	26.5	174,313	27.5
フランチャイズ運営事業	157,845	25.2	142,253	22.5
メディカルラボ事業	303,209	48.3	307,986	48.6
ヒューマンケア事業	―	―	8,710	1.4
合計	627,548	100.0	633,263	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

※ヒューマンケア事業は、平成26年10月よりスタートした医療介護事業であります。

(3)貸借対照表

（単位：千円）

科目＼期別	第24期（平成26年3月31日現在）		第25期（平成27年3月31日現在）	
	金額	構成比	金額	構成比
（資産の部）		%		%
Ⅰ流動資産				
1. 現金及び預金	221,494		263,571	
2. 売掛金	15,355		21,086	
3. 商品	108		354	
4. 貯蔵品	3,643		3,886	
5. 前払費用	14,641		16,324	
6. 繰延税金資産	7,843		8,203	
7. その他	311		1,098	
貸倒引当金	－		△260	
流動資産合計	263,399	69.4	314,263	68.9
Ⅱ固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物	24,005		22,430	
(2) 構築物	383		342	
(3) 車両運搬具	4,507		2,634	
(4) 工具、器具及び備品	7,266		7,165	
有形固定資産合計	36,163	9.5	32,572	7.2
2. 無形固定資産				
(1) 電話加入権	1,388		1,388	
無形固定資産合計	1,388	0.4	1,388	0.3
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	1,057		1,399	
(2) 関係会社株式	－		14,471	
(3) 出資金	60		60	
(4) 長期前払費用	291		10,177	
(5) 繰延税金資産	5,001		－	
(6) 長期滞留債権	2,333		8,353	
(7) 差入保証金	58,837		61,303	
(8) 保険積立金	11,549		12,438	
貸倒引当金	△713		△6,943	
投資その他の資産合計	78,417	20.7	101,261	22.2
固定資産合計	115,970	30.6	135,223	29.7
Ⅲ繰延資産				
(1) 開発費	－		6,555	
繰延資産合計	－	－	6,555	1.4
資産合計	379,369	100.0	456,042	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：千円）

科目＼期別	第24期末（平成26年3月31日現在）		第25期末（平成27年3月31日現在）	
	金額	構成比	金額	構成比
（負債の部）		%		%
Ⅰ 流動負債				
1. 買掛金	370		2,247	
2. 未払金	10,575		16,923	
3. 割賦未払金	2,193		2,341	
4. 未払費用	13,775		16,297	
5. 未払法人税等	2,874		3,983	
6. 未払消費税等	5,337		10,808	
7. 前受金	29,938		108,093	
8. 預り金	13,255		18,710	
9. 賞与引当金	1,250		1,250	
流動負債合計	79,570	21.0	180,655	39.6
Ⅱ 固定負債				
1. 預り保証金	56,600		60,600	
2. 長期未払金	3,748		1,755	
3. 繰延税金負債	－		83	
固定負債合計	60,348	15.9	62,439	13.7
負債合計	139,918	36.9	243,094	53.3
（純資産の部）				
Ⅰ 株主資本				
1. 資本金	52,000	13.7	52,000	11.4
2. 資本剰余金				
(1) 資本準備金	42,000		42,000	
(2) その他資本剰余金	2,593		2,593	
資本剰余金合計	44,593	11.7	44,593	9.8
3. 利益剰余金				
(1) その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	142,955		116,194	
利益剰余金合計	142,955	37.7	116,194	25.5
株主資本合計	239,549	63.1	212,787	46.7
Ⅱ 評価・換算差額等				
(1) その他有価証券評価差額金	△98		159	
評価・換算差額等合計	△98	△0.0	159	0.0
純資産合計	239,450	63.1	212,947	46.7
負債・純資産合計	379,369	100.0	456,042	100.0

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

（注）

科目＼期別	第24期 （平成26年3月31日現在）	第25期 （平成27年3月31日現在）
発行済株式数	2,500株	2,500株
1株当たり純資産額	95,780円29銭	85,179円 13銭

(4)株主資本等変動計算書

前事業年度（自　平成25年4月1日　至　平成26年3月31日）

（単位：千円）

項目	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	
					繰越利益剰余金	
平成25年4月1日残高	52,000	42,000	2,593	44,593	133,233	229,826
事業年度中の変動額						
当期純利益	－	－	－	－	9,722	9,722
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	－	－	－	－	－	－
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	9,722	9,722
平成26年3月31日残高	52,000	42,000	2,593	44,593	142,955	239,549

項目	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
平成25年4月1日残高	△108	229,718
事業年度中の変動額		
当期純利益	－	9,722
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	10	10
事業年度中の変動額合計	10	9,732
平成26年3月31日残高	△98	239,450

当事業年度（自　平成 26 年４月１日　至　平成 27 年３月 31 日）

（単位：千円）

項　　目	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合　計	その他利益剰余金	
					繰越利益剰余金	
平成 26 年４月１日残高	52,000	42,000	2,593	44,593	142,955	239,549
事業年度中の変動額						
当期純利益	－	－	－	－	△26,761	△26,761
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	－	－	－	－	－	－
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	△26,761	△26,761
平成 27 年３月 31 日残高	52,000	42,000	2,593	44,593	116,194	212,787

項　　目	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
平成 26 年４月１日残高	△98	239,450
事業年度中の変動額		
当期純利益	－	△26,761
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	258	258
事業年度中の変動額合計	258	△26,502
平成 27 年３月 31 日残高	159	212,947

(5)重要な会計方針

１.有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式……移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のある有価証券……決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

時価のない有価証券……移動平均法による原価法

２．たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品…… 先入先出法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

貯蔵品……最終仕入原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

３．有形固定資産の減価償却方法……定率法（ただし、平成 10 年４月１日以降に取得した建物については定額法）

４．繰延資産の処理方法

開発費……5年間の均等償却を行っております。

５． 引当金の計上基準

貸倒引当金…… 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金……従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額を計上しております。

６．リース資産の減価償却方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

…… リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

７． その他の財務諸表作成の為の重要な事項

…… 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(6)重要な会計方針の変更

該当事項はございません。

Ⅱ　第25期（平成26年４月１日～平成27年３月31日）の業績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に緩やかな回復がみられたものの、欧州の財政不安や新興国経済の成長鈍化などにより、先行きが不透明な状況が続いておりました。しかしながら、経済政策への期待から円安・株高の傾向が続いており、景気への明るい兆候が見え始めております。

学習塾業界におきましては、同業他社間での業務・資本提携、ＩＴ技術を利用した学習サービスの展開など、様々な方法で生き残り、顧客の囲い込みを図っており、競争はますます厳しくなっております。

このような経営環境のもと、当社では、直営校ならびにフランチャイズ校におきましては研修会などを開催し､生徒ひとりひとりに最適な学習環境の提供､生徒のモチベーションアップ、サービスに携わる人材の育成に努めてまいりました。医系専門予備校「メディカルラボ」におきましては、進学実績の向上による信頼度アップに努めてまいりました。また、新事業といたしまして、「ヒューマンケア」事業を平成26年10月１日よりスタートさせ、介護事業に進出をいたしました。さらに、平成27年３月19日に、株式会社ワンズリアルコミュニケーションズ（現　不動産ナビプラザ株式会社）の第三者割当増資の引き受け（子会社化）、株式会社稲垣学舎（現　株式会社名学館ディスカバリー）の株式取得（子会社化）、有限会社エスワイテーセミナー（現　株式会社名学館＆山田義塾）の株式を取得（子会社化）し、企業価値を高める積極的な経営をしてまいりました。

以上の結果、当事業年度実績は、売上高633,263千円（前期比0.9%増）、経常損失12,853千円（前期　経常利益　23,895千円）および当期純損失26,761千円（前期　当期純利益9,722千円）となりました。

Ⅲ　第26期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

期別 科目	第25期　実績 自平成26年４月１日 至平成27年３月31日	第26期　予想 自平成27年４月１日 至平成28年３月31日
売上高	633,263	650,000
経常利益または経常損失（△）	△12,853	35,000
当期純利益又は純損失（△）	△26,761	21,000

Ⅳ　資金及び借入金の状況

(1)現金及び預金の増減　（単位：千円）

期別	第24期	第25期

科　目	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
現金及び預金の増減額	△50,152	42,076
現金及び預金の期首残高	271,646	221,494
現金及び預金の期末残高	221,494	263,571

（主な増減理由）

第25期の主な増加理由は、前受金が増加したことが主な要因であります。

(2)短期借入金の増減

該当事項はございません。

(3)長期借入金の増減(1年内返済予定長期借入金を含む)

該当事項はございません。

Ⅴ　その他

該当事項はございません。